

令和7年6月20日（金）

第2回定例会一般質問

（要旨及び質問順位）

新 冠 町 議 会

第2回定例会一般質問

1 武藤 勝圀 議員

「町長の所信表明」の関わっての質問

2 中山 千鶴子 議員

日高德洲会病院誘致に伴う診療所閉鎖の方針と、医療従事者支援について

3 中山 千鶴子 議員

教育行政とまちづくりにおけるウェルビーイング

4 長浜 謙太郎 議員

まちづくりへの関心を高める取り組みについて

5 野中 一生 議員

農道・町道の維持管理体制と、異常等早期発見の仕組みづくりについて

6 酒井 益幸 議員

恵寿荘の施設運営について

7 酒井 益幸 議員

婚活支援と出会いの創出について

8 但野 裕之 議員

「ゼロカーボンシティ宣言」について

9 但野 裕之 議員

ふるさと納税について

第2回定例会一般質問要旨

NO. 1

順位	質問議員名	発言要旨	答弁を 求める者
1	武藤 勝圀	「町長の所信表明」に関わっての質問	町 長
<p>町長の所信表明に関わり、3点質問いたします。</p> <p>1、1頁の「町民生活に直結する課題を優先し、粉骨砕身、全力で取り組む」に関わって質問します。</p> <p>町民生活は今、深刻な物価高騰の影響を受け、暮らしと営業への不安は増すばかりです。</p> <p>令和6年度補正予算で「低所得者支援交付金」「推奨事業枠」で交付金がありました。「低所得者支援分」は32,950千円で執行済みですが、「推奨事業枠」の33,624千円は未執行です。</p> <p>現在、物価高騰・コメの高騰などで町民生活は大変です。「推奨事業枠」は幅広く使えるもので、多くの町民に行き渡るような支援に活用するべきと思いますが、町長の見解を伺います。</p> <p>2、5頁の4項目の「各種ふるさと納税も特定事業への財源として取り組み強化」に関わって質問します。</p> <p>納税推進室を新設し、納税分野の業務を一元化して体制を充実し、寄付額の増加を狙うという町長の意欲は理解できますが、町の振興発展につながるのかという点から質問します。</p> <p>①具体的にどう取り組みを強化するのか、例えば、「寄付金」の目標額はどのように考えていますか。一方、寄付金が増えれば返礼品の購入やその事務手続き費用が発生し、結果としてそう大きな収入増にはならないと思いますが、どう考えますか。</p> <p>②返礼品に、にいかっふピーマン、新冠産のコメなどは考えていますか。</p> <p>③どう新冠の「地場産業」の育成につなげていくのか。の3点を伺います。</p> <p>3、6頁の「青年活動に対してできる限りの支援をし、町づくりを推進する」に関わって質問します。</p> <p>現に役場職員、小中学生、成人教育、高齢者教育など、多岐にわたって取り組まれています。青年層に対する教育は将来の町づくりにとって、特に必要な取り組みと思います。</p> <p>以前に、町民海外研修派遣事業がありました。竹下内閣のふるさと創生資金1億円を活用した事業で、平成2年から平成10年度にわたり9回、アメリカ・カナダ方面、ヨーロッパ方面に分かれて行われ、多くの町民・役場職員が派遣されました。その後、第3次新冠町行政改革により事業の継続はなりませんでしたが、この事業の検証・評価はなされているのでしょうか。この点の見解を伺います。</p> <p>この事業から既に25年が経過しました。町づくりは人づくりといっても過言ではありません。20～40代の青・壮年層の、将来の町づくりを担う町民の、町民海外研修派遣を再開する考えはありませんか。この点での見解を伺います。</p>			

第 2 回定例会一般質問要旨

NO. 2

順位	質問議員名	発 言 要 旨	答 弁 を 求 る 者
2	中山 千鶴子	日高德洲会病院誘致に伴う診療所閉鎖の方針と、医療従事者支援について	町 長
<p>日高德洲会病院が、地震・津波対策も含めて、当町の高台への移転を決定した。当町が医療体制の将来を見据え、誘致を実現できたことは高く評価できること。</p> <p>一方で、この方針により、国保診療所の閉鎖が示され、町民や医療従事者の間に不安と戸惑いが広がっていることから3点伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現在、医療従事者の不安や戸惑いに対し、町として相談窓口、あるいは対話の場は設けられているのか。 2 再就職支援、スキル支援などの制度は具体的に準備されているのか。 3 地域医療が縮小されるとの誤解や不安に対し、町としてどのように説明責任をはたすのか。また、高齢者、交通弱者が新病院へ通うための移動手段はどのように考えているのか。 			
3	中山 千鶴子	教育行政とまちづくりにおけるウェルビーイング	教育長 町 長
<p>子供たちの心身の健康や社会的つながり、幸福感など「ウェルビーイング」の視点を教育行政にどう取り入れていくか教育長に3点伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前教育長の方針を新教育長はどのように継承、発展させていくのか。 2 数値化しにくい「幸福感」等をどのように把握、評価しているのか。 3 ウェルビーイングの理念を保護者、地域の方々とともに共有しているのか。 <p>ウェルビーイングの理念はまちづくりにも反映されるべき。町長にも伺う。</p> <p>所信表明で「町民の皆さんがどのような幸せを求め、どうすれば幸せを実感できるか共に考えたい」と述べられていたが、具体的にどのような取り組みを想定しているのか。</p>			
4	長浜 謙太郎	まちづくりへの関心を高める取り組みについて	町 長
<p>8年ぶりに町長選挙が行われ、新体制でのまちづくりがスタートした。今回の投票率は69.08%であり、同じ構図となった前回や他自治体と比べると、この数字は決して高いとは言えないものである。</p> <p>同日に執行された町議会議員補欠選挙が無投票当選となったことも影響しているのだろうが、この事も含めて民意として受け止めるならば、まちづくりへの興味関心が高くない兆候を危惧し、様々な手段で対応すべき必要性を感じている。</p> <p>これからの町政運営に対し、より一層当事者意識を持って貰う為にも投票率の向上に務めるべきと考えるが、その取り組みについて見解を伺う。</p>			

第2回定例会一般質問要旨

NO. 3

順位	質問議員名	発 言 要 旨	答 弁 を 求 る 者
5	野中 一生	農道・町道の維持管理体制と、異常等早期発見の仕組みづくりについて	町 長
<p>新冠町に於ける町道・農道の維持管理体制について、道路状態の点検頻度や修繕補修履歴情報の管理活用状況を確認致します。</p> <p>又、農道利用者の多くは周辺住民であり、異常の早期発見体制の構築が重要と考え、尚、地域住民との連携協力による定期点検活動の導入を提案致します。</p> <p>1、町道・農道の点検体制について。</p> <p>①点検頻度</p> <p>②修繕補修履歴をデータ化し、保全情報の伝達共有がなされているか。</p> <p>2、農道の異常や問題の早期発見体制について。</p> <p>○住民からの情報を電話以外の手段で受け付ける方法はないか。</p> <p>3、行政と町民協働による道路保守・保全の可能性について</p> <p>○各自治会と連携した町道や農道を見守る取り組みを導入することは可能か。</p>			
6	酒井 益幸	恵寿荘の施設運営について	町 長
<p>恵寿荘は、町立特別養護老人ホームとして、地域とともに低所得者にも対応した入所施設として、欠かすことのできない介護施設である。</p> <p>国保診療所は医療と介護の緊密な体制をとっている。入所者の急病など迅速なチームワークによる対処力のほか、浸水等災害による避難場所でもある。</p> <p>徳洲会病院移転により、メリットがあると思う一方で、診療所との連携に懸念が生じるのではないかと心配である。この不安感解消と町民福祉の増進を図るため、運営方針を一刻も早く定めるべきではないか。</p> <p>公約に恵寿荘の改築を含めているが、まずは施設老朽化の劣化状況を調査し、改築を見据えた試算を示す考えはあるのか。また、物価上昇が深刻さを増す中、公共施設の改築工事は多額の財政出動が伴い、財政的な政策判断も問われる。慎重に検討すべきであり、どう判断されるのか。</p>			

第2回定例会一般質問要旨

NO. 4

順位	質問議員名	発 言 要 旨	答 弁 を 求 る 者
7	酒井 益幸	婚活支援と出会いの創出について	町 長
<p>若者からは、気軽に出会える場がないとの声があり、加えて婚活支援は、行政にとって難しい課題であるが、最大限支援を講じることでまちづくりの発展に寄与すると考える。</p> <p>将来を担う若者の婚活支援や出会いの創出を目的とする事業は必要であり、町が主体となり、官民連携も視野に入れた施策が重要であると考え。国は、少子化対策事業に使える交付金を創設している。このことから、婚活支援は市町村の役割と捉えて取り組む自治体が増えている。</p> <p>当町の婚活支援は、民間と連携協定を結び、民間企業の運営による結婚相談所がある。何年も連絡や出会いがないとの声が聞かれる。</p> <p>経済的な理由で結婚を断念することがないように、結婚に伴う新生活の住宅費と引越費用を自治体が補助する「結婚新生活支援事業」が急増しているが、課題に対する施策の推進について3点伺う。</p> <p>①連携協定による結婚組数の実績を踏まえ、町独自に「婚活支援」を行う考えは。 また、官民連携による施策推進も必要と思うが。</p> <p>②若者支援に対する「出会いの創出」を目的に、食事や会話などを楽しみながら、交流できる場を設ける考えは。</p> <p>③結婚新生活支援事業を実施し経済的支援する考えは。</p>			
8	俎野 裕之	「ゼロカーボンシティ宣言」について	町 長
<p>当町は本年3月に、「ゼロカーボンシティ宣言」を行った。前町長の置き土産である。町長の所信表明で、新たな事業として、一般家庭の再生エネルギー導入（太陽光）に対する助成制度の創設をあげているにすぎない。</p> <p>宣言を行った先進地では、様々な取り組みがなされ、学校教育では副読本などを使い、環境教育も行われている。</p> <p>当町において宣言後、町民に対する啓蒙活動もなく、十分に周知されていない状況にあると思われる。ややもすれば、看板倒れになりかねない。日常生活で実践できる「ゼロカーボン」について、わかりやすく解説する出前講座を行っている自治体もある。周知徹底を計るべきでは。</p> <p>町長の思い描く新冠のゼロカーボンシティはどのような町なのか。それに向けての具体的な取り組みは。実行性のある宣言であると願いたい。</p> <p>町長の所見を伺う。</p>			

第2回定例会一般質問要旨

NO. 5

順位	質問議員名	発 言 要 旨	答 弁 を 求 る 者
9	但野 裕之	ふるさと納税について	町 長
<p>ふるさと納税推進室が新設された。町長のふるさと納税に対する本気度がうかがわれる。推進室を設置することにより、当町のふるさと納税はどのように変わるのだろうか。</p> <p>一方、総務省は、ふるさと納税の返礼品として使える製品の要件を厳格化する検討に入った。6月下旬に改正しようとしている。他地域で製造され、地元で加工された製品なども厳格化される。</p> <p>輸入ワインを地元の倉庫に保管して、「熟成させた」という「付加価値」があるとして、小売価格に比べて高い価値で調達している例も問題視している。当町の人気返礼品「トンネルワイン」も、これに該当すると思われる。</p> <p>この対応は、すでに行っていると思われるが、どのように対処するのか。</p>			